

2017年度～ 人間ドック オプション検査 脾がんリスク検診を始めます

地域・企業健診センター 医務課 町田 浩道

人 間ドックのオプション検査として『脾がんリスク検診』を始めます。脾がんは、がんによる死亡原因の4位で、40歳代から70歳代の中高齢者に多く発症しています。

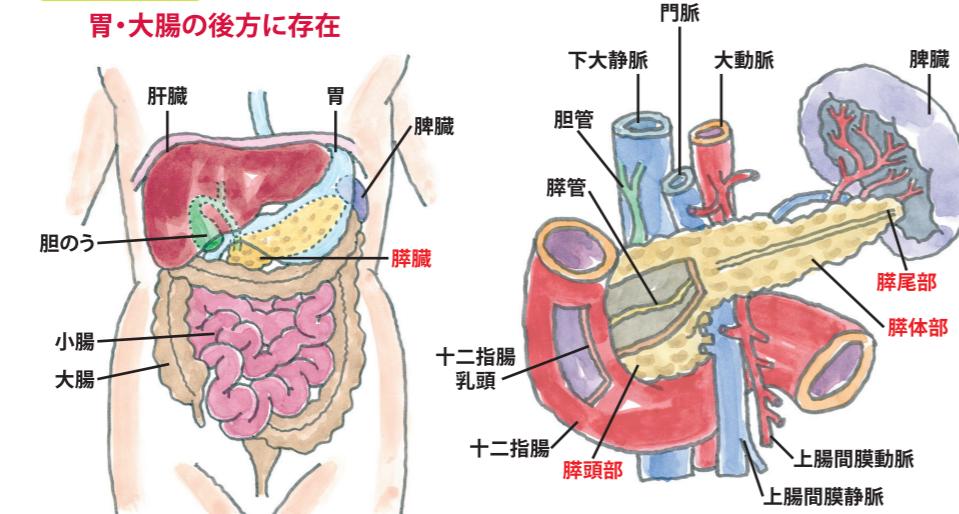
早 い段階では特徴的な症状がないため、胃がんや大腸がんのように早期のうちに見つけることは難しく、わかつたときにはすでに進行していることが多いのが脾がんです。

脾がんリスク検診は、危険因子（リスクファクター）の有無を血液検査や詳しい画像検査で確認し、脾がんの早期発見につなげます。

※国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センター、日本消化器病学会HPより一部抜粋

脾臓の場所

胃・大腸の後方に存在



こんな方に おすすめ

- ▶ 家族に脾がんになった人がいる
- ▶ 最近急激に体重が減った
- ▶ 最近、糖尿病と言われた
- ▶ 肥満(BMI30以上)
- ▶ 慢性脾炎、遺伝性脾炎である
- ▶ 喫煙や飲酒の習慣がある
- ▶ 腹痛や背部痛が続く

検査項目		どんな検査？
腹部エコー検査		通常の人間ドックでの検査より十分な時間をかけて、体位変換などの工夫を加えて、脾臓を可能な限り詳しく検査します。（被ばくの心配はありません）
腹部MRI検査		磁気を使った画像検査です。エコー検査では描出困難であった部位でも調べることができます。また脾がんの発生部位である脾管の状態も詳しく分かります。（被ばくの心配はありません）
採血検査	エラスター [®] 1	脾がんによる脾炎があると、比較的初期の段階から脾がんに反応して数値が上昇しやすいため、脾臓がんのスクリーニングに有用です。
	リパーゼ	リパーゼは脂肪を分解する消化酵素で脾臓に特異的に反応するため、脾疾患のスクリーニングに有用です。
	CA19-9	脾がんなどの消化器や卵巣などのがんで上昇する腫瘍マーカーです。初期のがんでは正常なこともあります。
	DUPAN-2	脾がんなどで上昇する腫瘍マーカーです。

1～2週間程度

結果説明

ドック受診後1～2週間目以降にご来院いただき、必ず直接結果説明を行います。

実施予定施設 聖隸健康診断センター(浜松市中区住吉2-35-8)

お申込み お問い合わせ 予約センター ☎ 0120-938-375 受付時間：平日 8:30～17:00 / 土曜日 8:30～12:00

聖隸健康診断センター マンモグラフィ新機種 導入しました

近年乳がんは年々増加し、罹患率では女性のがんの第1位になっており、乳がん検診の重要性が説かれています。

※罹患率…病気にかかる割合

聖隸健康診断センター 放射線課 佐々木 明日香



乳がん 検診の検査項目のひとつにマンモグラフィがあります。マンモグラフィでは、乳がん（しきり）も正常な乳腺も白く写るために、乳腺が多い高濃度乳腺の場合、乳がん（しきり）が写っていても乳腺に隠れてしまうこともあります。正確な診断が難しい場合があります。

一般的に年齢が若い20-30代ほど乳腺量が多いですが、実は日本人女性の場合、年齢に関わらず40歳以上でも高濃度乳腺の方が少なくありません。

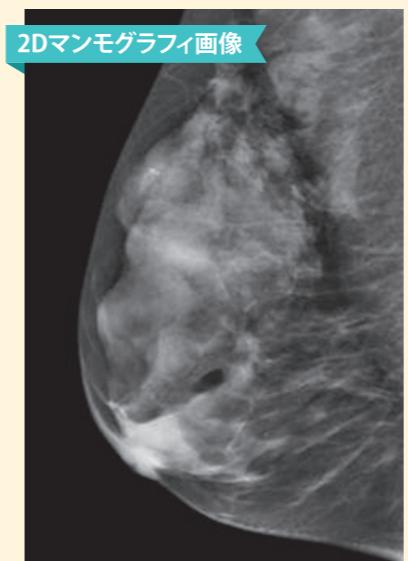
聖隸

健康診断センターでは新しい機種の更新に伴い、3Dマンモグラフィ（トモシンセシス）が撮影できる機能を備えた装置を導入いたしました。

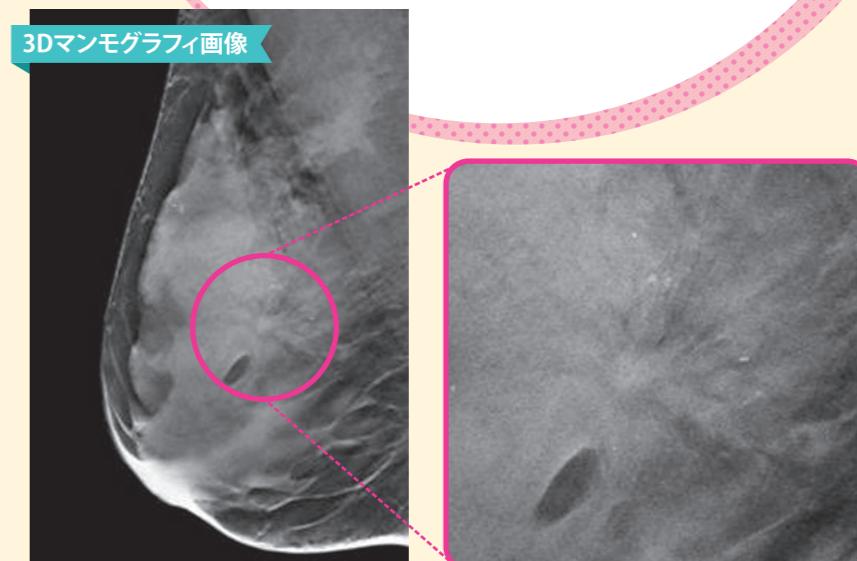
3Dマンモグラフィでは、撮影角度を変えて複数の方向から撮影し、画像を構築します。これにより、従来のマンモグラフィと比較して、乳腺濃度に関係なく乳房内の観察がしやすくなり、正確な診断が可能になります。撮影時間や被ばく量はこれまでとほぼ変わりませんのでご安心ください。

乳がんは予防ができないため、早期発見がとても重要です。そのために、定期的に検診を受けましょう。

2Dマンモグラフィ画像



3Dマンモグラフィ画像



●内容に関するお問い合わせ

聖隸健康診断センター 放射線課 ☎ 053-475-1226

●婦人科検診に関するお問い合わせ

予約センター ☎ 0120-938-375